

天智天皇衣がけの石



校区の東宮地域に天智天皇衣がけの石がある。

663年、斉明天皇の朝鮮出兵にお供した中大兄皇子（後の天智天皇）が、当地に上陸したときに、衣をかけたと言い伝えられている石である。

また、東宮地域から上野田を通り、村山神社まで至る道は、御車道（みくるまみち）と呼ばれている。

村山神社は、斉明天皇と天智天皇も祭神とし、境内には、磐瀬行宮（いわせのかりみや）の伝承も残されている。

（詳しくは、村山神社のページをご覧ください。）